

桜小PTA 人権講演会・井戸端会議

日時：令和2年1月24日

場所：桜が丘小学校 図工室・理科室

発行：広報部

テーマ「学力テストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす」

授業参観後、保護者やボランティアの方、先生方など約50名が参加し、講師の中山芳一先生（岡山大学全学教育・学生支援機構 准教授）による講演を聞いた後、グループに分かれて話し合い、学びを深めました。

【講演の要旨】

- 認知能力と非認知能力について
認知能力=IQやテストなどの数値化できる能力
非認知能力=テストなどで点数にできないもの
〔 意欲・思いやり・たくましさ・自信・忍耐力・
自制心・コミュニケーション能力など 〕
- シンギュラリティ時代の新たな社会について
※シンギュラリティとは、人工知能（AI）が人の知能を超える転換点。それがもたらす世界の変化のこと。
VUCA時代の到来
Volatility（不安定） Uncertainty（不確実）
Complexity（複雑） Ambiguity（不明確）
- 子どもを伸ばすには…
 - ・小学校中学年の9歳・10歳から“刺激”を与える。
 - ・自分の内側からやりたいと思えると、勉強を遊びのようにもできるし、仕事も遊びのようにもできる。
 - ・親がよくしてしまう事→子どもが物選びなどで悩んでいると、親がつい「こっちにしなよ。」と言いがち。
子どもが主体的に動くには、考えさせる時間も必要。

【人権講演会・井戸端会議の感想】

- ・親の声かけ、見守り方で子どもの意欲が変わるんだなと思うと、とても考えさせられました。
- ・子どもとの関わり方を見つめ直す、とってもいいきっかけになりました。
- ・グループワークでは、子育てエピソードを聞いて楽しかったです。またゲームとの関わり方も話し合えて良かったです。

